

令和5年度

施

設

概

要

体験の風を
おこそう



施設マスコット：ササビー



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

国立赤城青少年交流の家は、団体宿泊訓練を通じて健全な青年の育成を図ることを目的として文部省(現文部科学省)により、全国7番目の国立青年の家として昭和45年4月に設置(昭和46年4月開所)され、平成13年4月に独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に、平成18年4月には、現在の独立行政法人国立青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家となりました。そして、令和3年4月には開所50周年を迎えることができました。

上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)の一つ赤城山南麓の標高530メートルに位置する国立赤城青少年交流の家は、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。

目次

所旗・所章/マスコット/運営体制	2
沿革	3
研修施設の概要	4
施設配置図	5
利用案内	7
令和4年度利用状況	8
令和5年度教育事業等計画一覧表	9



所 旗・所 章

△ は、赤城山と青年の「家」をかたどり、同時に青年の向上心を表しています。

○ は、首都圏を意味するとともに、青年たちの友情にみちた連帯と和を示しています。

A は A k a g i の A を表しています。



所旗は、この所章をあしらったもので、地色の浅緑は澄みわたった大空と関東の緑野、そして青年の「若さ」を意味しています。

マークの朱色は赤城山に咲くれんげつつじの色と青年の家のともしびを模し、青年の情熱と心のあたたかさを象徴したものです。

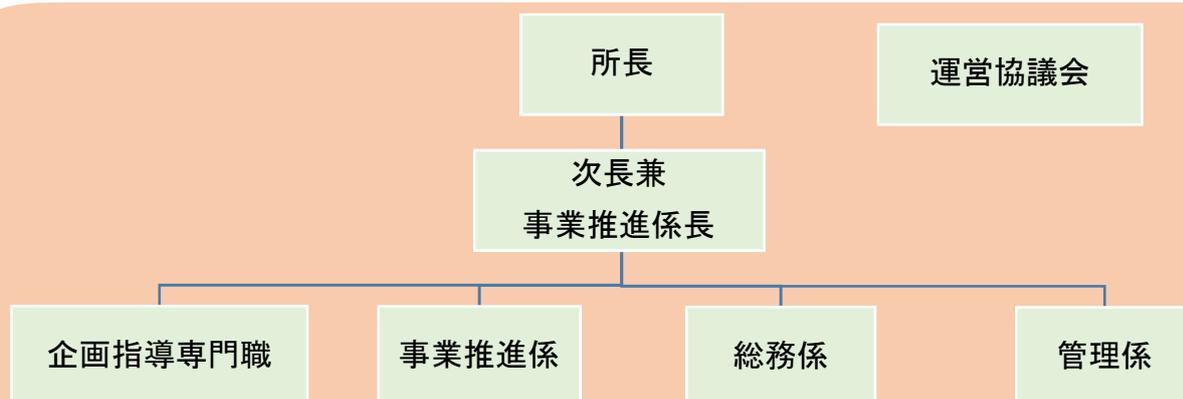
所旗・所章ともに、国立赤城青年の家として設置された昭和46年に制定されたものです。

マスコット

当施設のマスコットはムササビをモチーフにした「ササビー」です。平成30年度に公募を行い、76件の応募の中から、当施設職員と富士見地区の小中学生による投票の結果、箕輪茜さん（当時、太田情報商科専門学校）の作品が選ばれました。



運営体制(令和5年4月1日現在)



沿革

- 昭和 45 年 文部省令第 11 号の施行により、群馬県勢多郡富士見村に国立赤城青年の家を設置(4/17)
- 46 年 所旗・所章を制定(2/26)、所歌を制定(3/4)、管理棟・サービス棟・宿泊棟竣工、受入れ開始(3/20)、開所式を挙行(4/28)、自然遊歩道完成(8/3)、体育館竣工(12/25)
- 47 年 グラウンド・テニスコート・屋外バレーボールコート竣工(1/30)、武道館竣工(12/15)
- 50 年 特別研修棟竣工(4/13)
- 52 年 野外訓練コース(フィールドアスレチック)竣工(1/28)、大型バス等車庫竣工/自然植物園第 1 次計画造成(12/5)
- 54 年 交流棟竣工(5/31)
- 56 年 講師・ボランティア棟竣工(2/20)、開所 10 周年記念式典挙行(4/19)
- 57 年 開所以来延べ宿泊者 100 万人を突破(5/30)
- 60 年 浴室増設(中浴室竣工)(12/16)
- 平成 3 年 開所 20 周年記念式典挙行(10/29)
- 6 年 生活棟竣工(3/30)、開所以来延べ宿泊者 200 万人を突破(7/9)
- 7 年 管理棟・宿泊棟・サービス棟他外壁塗装工事、ボイラー1 基更新・湯槽 1 基新設(2/28)
- 8 年 受変電設備更新、給排水設備更新(3/29)、改修工事のため受入休止(H8.11~H9.3)
- 9 年 管理研修棟・談話室・厨房改修工事竣工(3/31)
- 11 年 第 2 キャンプ管理棟竣工(12/17)
- 13 年 独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に移行(4/1)、開所 30 周年記念式典挙行(12/1)
- 14 年 キャンプ場センター棟、屋根付広場竣工(8/1)
- 15 年 浴室棟竣工(3/25)
- 18 年 独立行政法人青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家に移行(4/1)
- 21 年 開所以来延べ宿泊者 300 万人を突破(4/14)
- 22 年 宿泊棟他耐震改修工事完成(3/25)
- 23 年 浴室棟暖房設備他改修工事完成(3/15)
- 27 年 体育館照明落下防止対策工事完成(1/26)
- 27 年 宿泊棟手摺等改修工事完成(2/27)
- 29 年 開所以来延べ宿泊者 400 万人を突破(4/19)
- 30 年 PA、キャンプ場、センター棟、屋根付広場、多目的フィールド及びテニスコートからなる一連の施設を「あかぎアドベンチャーエリア(AAA)」と命名(2/9)
マスコットキャラクター「ササビー」公募にてリニューアル(10/1)
- 31 年 幼児向けの自然を活用した運動遊び場「ササビー広場」完成(3/29)
- 令和 元年 ササビー広場オープニングセレモニー(8/27)
- 2 年 国立大学法人群馬大学との連携・協力に関する協定(3/10)
国立赤城青少年交流の家【公式】YouTubeチャンネルの開設(4/1)
- 3 年 前橋市との地域防災計画に関する協定締結(1/22)
開所 50 周年記念式典(4/24)
国立青少年教育振興機構広域防災補完拠点整備事業に伴う工事
- 4 年 「国立青少年教育施設における教育機能向上を目的とした設備等の充実」計画における「SDGsを意識できる野外炊事場」工事



研修施設の概要

名称		収容人数	名称		収容人数	
管理 研修棟 1階	講堂	200人	武道館	剣道室	50人	
	講師ロビー	10人程度		柔道場	50人	
	保健室	1人	棟1階 サービス	なごみの間	42人	
	静養室	3人				
	荷物置き場	約200人分				
管理 研修棟 2階	第1研修室 第2研修室	81人	棟2階 サービス	食堂ホール	250席	
	第3研修室	36人		売店・ラウンジ	—	
	第4研修室 第5研修室 第6研修室	42人		A棟(洋室)	最大86人	
				B棟(洋室)	最大86人	
	第7研修室 第8研修室	36人		C棟(和室)	最大106人	
				D棟(和室)	最大106人	
	特別 研修棟	音楽室		120人	E棟(和・洋室)	最大94人
		和室		50人	和室	最大20人
					ゲストルーム1~4	各1人
	プレ イル ーム	2階プレイルーム		50人	宿泊棟	ゲストハウス
特別講師棟			最大8人			
	アクティビティホール	100人		営火場	100人	
	体育館	31m×29m		しらさぎ炊事場	64人	
	浴室棟	100人		屋根付き広場	200人	
				SDGs 野外炊事場	48人	
				ササビー広場		



体育館



講堂



研修室



音楽室



浴室棟



センター棟&屋根付き広場



食堂



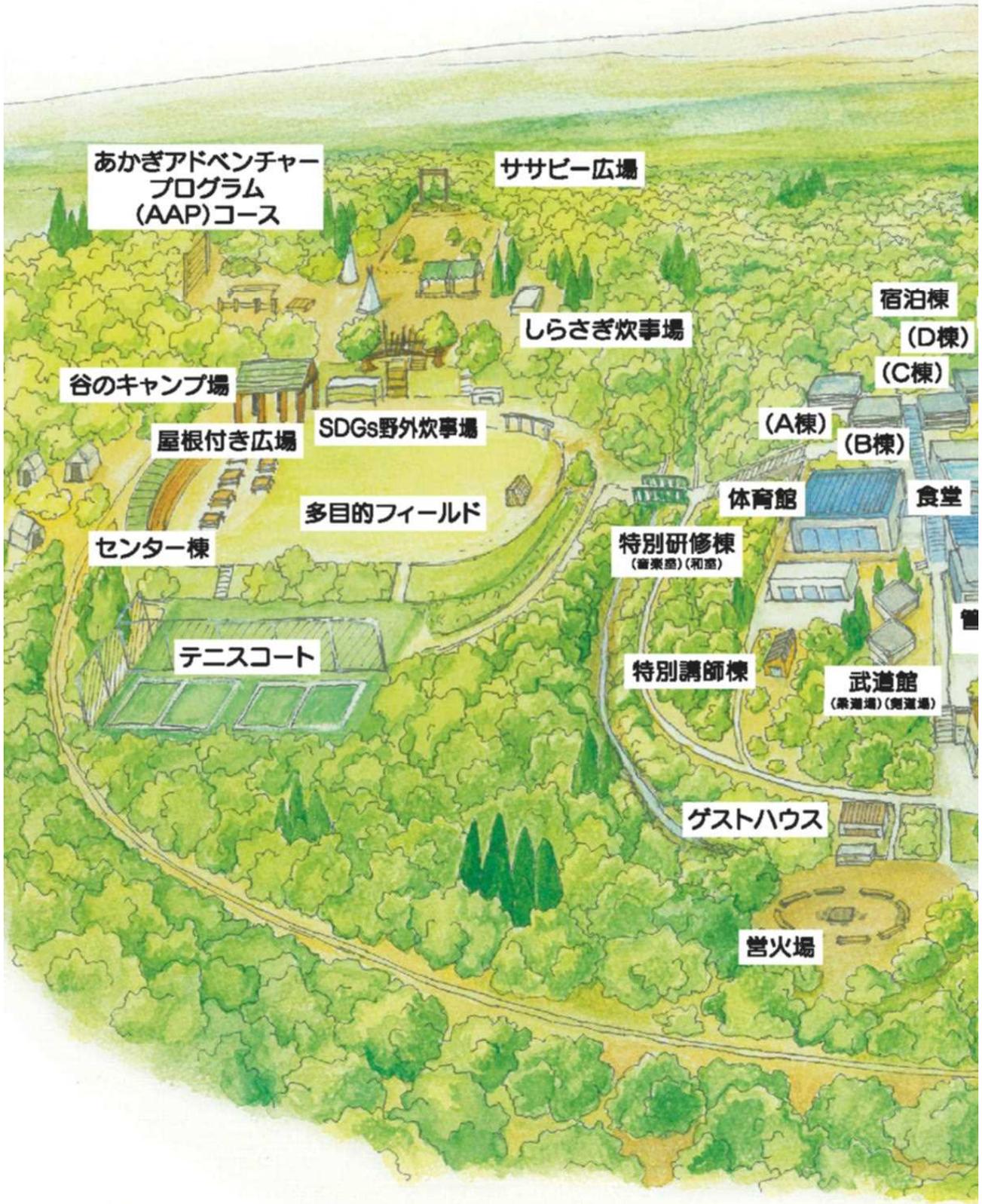
柔道場

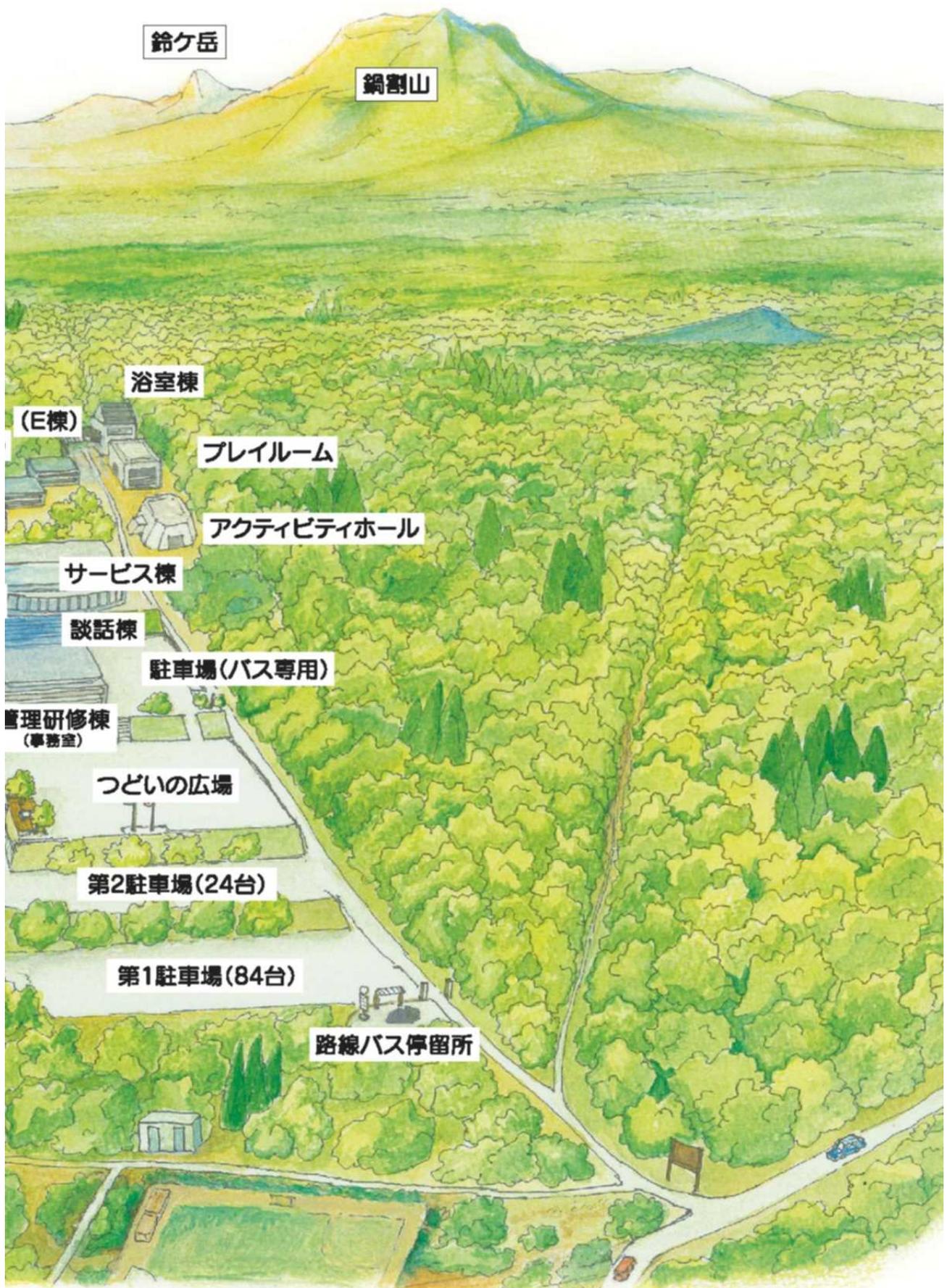


剣道場

施設配置図

敷地面積 (244, 246. 61 m²) 標高 (530m)





利 用 案 内

1. 利用できる団体

成人の引率者がいて、あらかじめ具体的な研修計画を持った2名以上の団体です。
主に学校、教育関係の施設や団体、青少年を対象とした活動を行う団体、地域などの団体やサークル、官公庁、企業、ファミリーなどの団体が利用しています。

2. 申込みの流れ

- (1) WEB 予約：希望日の空き状況を HP で確認のうえ、お申し込みください。
- (2) 内定通知書受取：申込み受付が済み次第、内定通知書をお送りします。
- (3) 書類提出：必要書類を提出してください。
 - ① 利用日の2か月前まで：活動計画書（1・2）
 - ② 利用日の1か月前まで：食事申込書、食物アレルギー事前確認票、教材申込書
 - ③ 利用当日に持参：利用者名簿、利用団体票

3. 利用できない日

- (1) 12月29日～1月4日（12月28日は宿泊不可）
- (2) 上記のほか、施設が定める日（詳細はHP参照）

4. 利用料金＜令和5年4月1日より料金改正＞

- (1) 宿泊施設使用料：青少年団体／無料、一般団体／1人1泊あたり900円
- (2) シーツ等洗濯代：本館／300円、キャンプ場／160円
- (3) 食事料金（本館食）

年齢区分	朝 食	昼 食	夕 食
中学生以上	500円（550円）	600円（660円）	730円（800円）
小学生	490円（530円）	590円（640円）	710円（780円）
幼児（3歳以上）	400円（440円）	480円（520円）	610円（670円）

※括弧内の金額は、令和5年7月1日（土）入所団体から適用される新料金です。

※弁当や野外炊事、活動備品、特定研修活動の指導は別途料金がかかります。

5. 標準生活時間

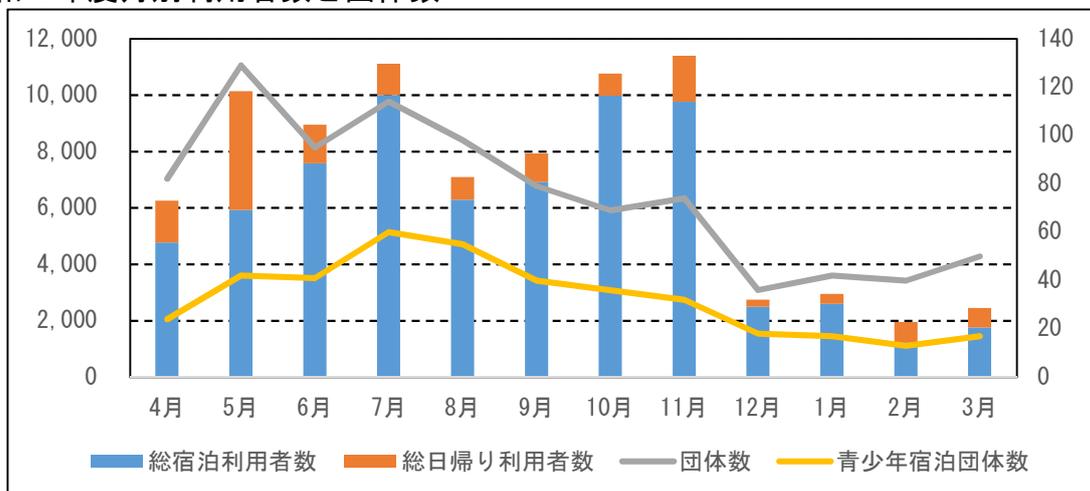


※提出いただいた活動計画書をもとに、交流の家職員が活動・生活時間や活動場所の調整を行います。

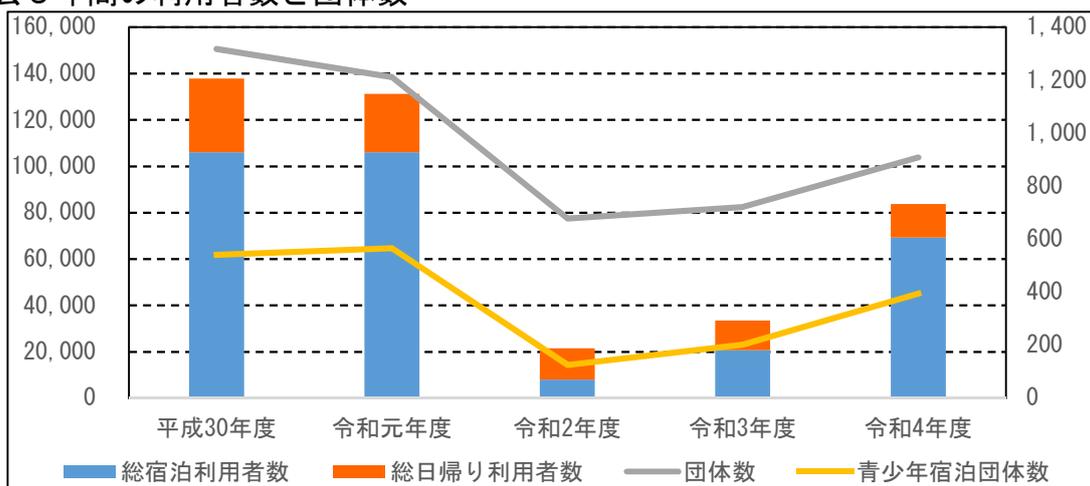
令和4年度 利用状況

1. 総利用者数 83,713 人（宿泊総利用者数 69,292 人、日帰り総利用者数 14,421 人）
2. 団体数 908 団体（宿泊青少年団体数 395 団体）

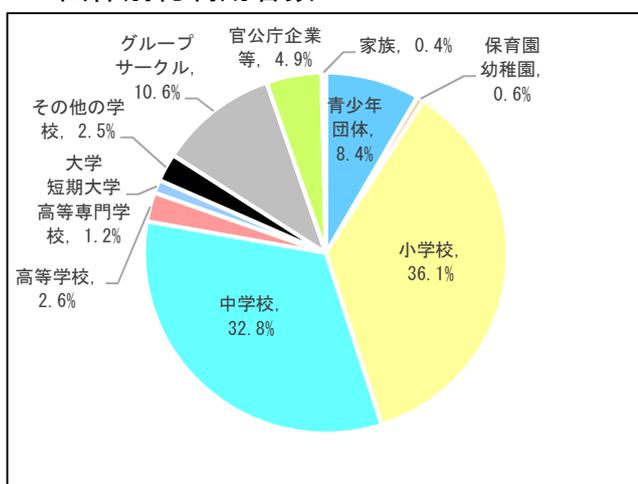
3. 令和4年度月別利用者数と団体数



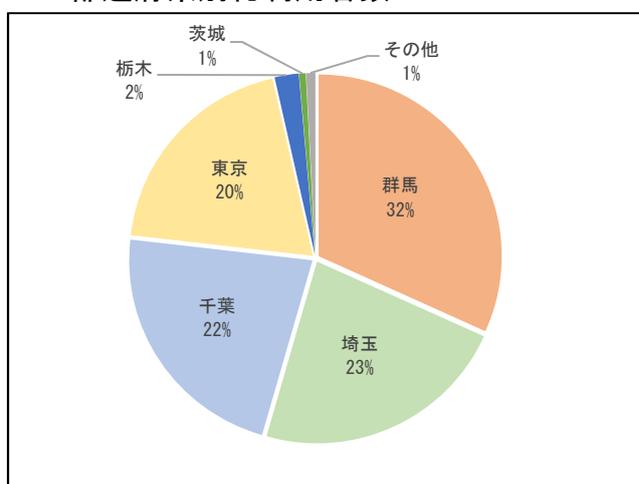
4. 過去5年間の利用者数と団体数



5. 団体別総利用者数



6. 都道府県別総利用者数



令和5年度 教育事業等計画一覧表

1. 青少年対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	あかぎ無限大キャンプ (ボラキャンプ)	7/1(土)～7/2(日)	キャンプ参加 ボランティア	8	7泊8日の長期自然体験キャンプで、参加者の活動をサポートするためのスキルを学ぶ。
2	あかぎ無限大キャンプ ①事前キャンプ ②本キャンプ ③事後キャンプ	①7/8(土)～7/9(日) ②8/13(日)～8/20(土) ③9/16(土)～9/17(日)	小学校5～6年生	24	①7泊8日の長期自然体験活動において、協働的な体験プログラム(野外炊事、赤城山登山、レクリエーション等)を通して、多様性を認め合える意識の醸成を図る。 ②7泊8日の長期自然体験活動(集中的な屋外活動)の外遊びを通して、近視進行の抑制(健康の保持増進)を図る。
3	全国高校生体験活動顕彰制度 「地域探究プログラム」 オリエンテーション合宿	8/7(月)～8/9(水)	高校生	20	宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付ける。
4	あかぎ防災キャンプ	11/3(金)～11/5(日)	中学校1～2年生	20	宿泊を伴う防災キャンプを通して、防災に関する知識を身に付ける、自ら判断し、行動することができる主体性、他者を思いやる心とみんなで協力する姿勢などを身に付ける。

2. 生活・自立支援事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	①あかぎオータムキャンプ ②あかぎウィンターキャンプ	①9/23(土)～9/24(日) ②1/27(土)～1/28(日)	①沼田市母子会 ②下仁田町母子会	各 40	ひとり親家庭などの児童生徒に体験活動を提供する。(母子寡婦福祉協議会所属母子家庭の親子)
2	①あかぎつつじキャンプ(夏) ②あかぎつつじキャンプ(秋)	①6/10(土)～6/11(日) ②11/18(土)～11/19(日)	児童養護施設 「こはるび」	各 30	児童養護施設の児童生徒に体験活動を提供する。

3. 青少年教育指導者対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	利用団体のための研修会	①5/9(火)・5/10(水) ②8/23(水)・8/24(木)	令和5年度 利用団体の引率 者	各 50	国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が実際の活動プログラムを体験することで、施設の利用方法や各プログラムの内容を理解する。
2	ボランティア養成セミナー	5/27(土)～5/28(日)	高校生以上	40	ボランティア活動への興味や具体的なイメージをもち、ボランティア活動に参画したいという意識を育て、ボランティア活動を行う上で必要な知識・技能について習得する。
3	自然体験活動指導者 (NEALリーダー)養成事業	6/24(土)～6/25(日)	教育関係者、 青少年教育の指 導者を目指す者 大学生、一般	20	ボランティア養成セミナーのスキルアップ講習として、楽しく安全に自然体験活動を指導するために必要なスキルを身に付ける。
4	幼児教育指導者のための 防災研修会	1/20(土)～1/21(日)	一般社団法人群 馬県私立幼稚 園・認定こども 園協会に所属す る中堅教諭	20	前橋市国土強靱化地域計画の重点化施策の一つである「防災啓発・防災教育の推進」を目指し、防災啓発及び防災教育における必要な知識及びスキルを身に付ける。

4. 家族等対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	親子キャンプ 秋編	9/30(土)～10/1(日)	幼児 (年中、年長を含む) とその保護者	45	ハイキング等野外活動を通じて、自然体験の楽しさに触れるとともに、親子の交流を深める。読み聞かせでは、絵本の世界に触れることで、豊かな心の育成を図る。
2	親子キャンプ 新春編	1/6(土)～1/7(日)	小学校3～4年生を含む親子	40	日本における「書」を活用した活動を通して、日本の伝統と文化に触れ合いながら親子の交流を深める。

5. 「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動普及啓発事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	さくらフェスタ	4/5(水)～4/8(土)	富士見地区をはじめとする前橋市住民	150	当施設の年度のスタートを知ると同時に施設内で咲いている桜の観賞や体験活動を行う。
2	あかぎフェスタ2023	10/21(土)～10/22(日)	幼児・小学生・保護者	300	参加した小学生及び幼児等の親子が、子供たちの成長に必要な様々な活動を体験する。また、基本的な生活習慣について考える機会とする。

6. 幼稚園・保育園対象研修支援事業 (園・学校単位)

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	ササビー広場で遊ぶ	通年	幼稚園・保育園等	園単位	遊んで身に付く36の基本的な動きを身に付けるための場ときかけを提供する。



自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成事業



親子キャンプ 秋編

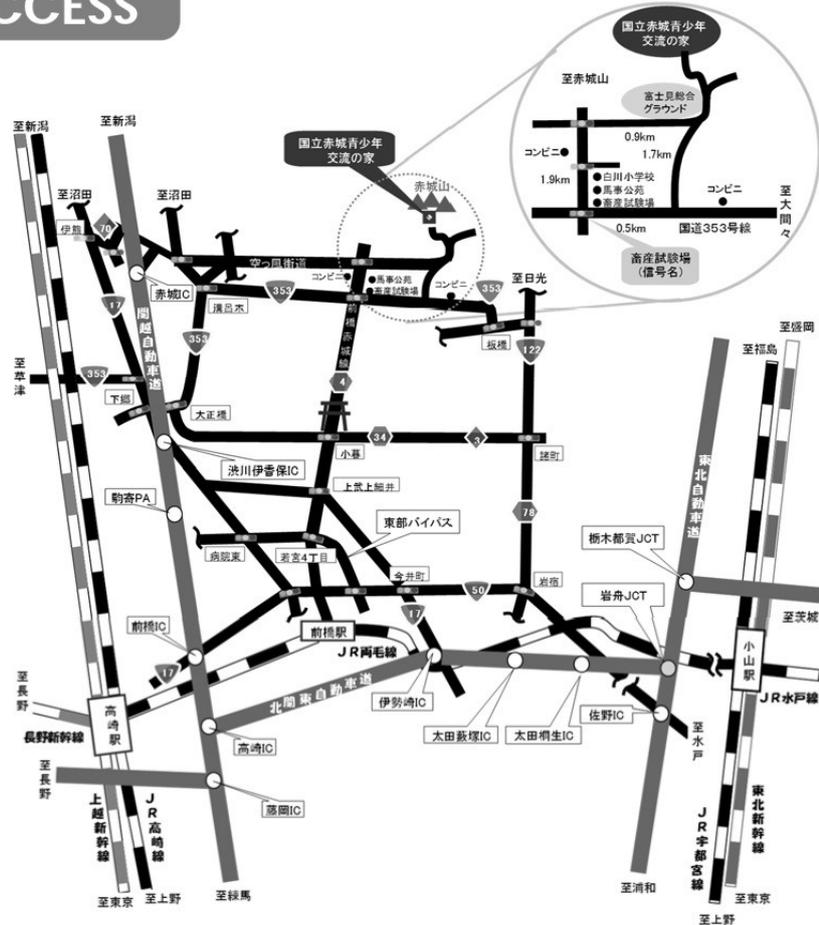


あかぎ無限大キャンプ



あかぎフェスタ

ACCESS



【自動車の場合】



- 関越自動車道「赤城 I. C」から約20分
- 北関東自動車道「伊勢崎 I. C」から約45分

【電車の場合】



- JR両毛線「前橋駅」下車
- 路線バス（関越交通）「国立赤城青少年交流の家」行き40分（片道780円）
- 注：○路線バスは4/27から11/3（予定）のみ運行
- 平日はデマンド運行、**要予約：027-210-5566（関越交通）**
- 土・日・祝は1日3往復で予約は不要
- 4/26以前および11/4以降は路線バスの運行はありません

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27
 TEL: 027-289-7224 / FAX: 027-289-7226
 URL: <https://akagi.niye.go.jp/>
 E-mail: akagi-soumu@niye.go.jp



ホームページ



YouTube



Instagram